

京都歴史遺産のなかの都人たち

# 八坂神社に 想いを寄せて



令和8年2月9日(月)

対談 午後2時30分

## 「八坂神社と神仏の歴史」

八坂神社 宮司 野村 明義

ノンフィクション作家 秋尾 沙戸子

対談会場 常磐新殿

特別拝観時間 午後3時40分

特別拝観料 1,000円

【主催】 京都仏教会

【後援】 明日の京都文化遺産プラットフォーム

【協力】 八坂神社

【特別協賛】 東海旅客鉄道株式会社

お問い合わせ お申し込みは

京都仏教会

電話 075(223) 6975  
FAX 075(223) 6976



お申し込みは  
こちらからできます。

### JR 東海からのお知らせ

「京都歴史遺産のなかの都人たち」へは便利で快適な東海道新幹線をご利用ください

京都観光情報をご案内中

そうだ 京都 行こう



<https://souda-kyoto.jp/>

上記催しの詳細は主催者にお問い合わせください。

# 八坂神社に想いを寄せて

令和8年2月9日 ①

午後2時10分～ 受付開始

午後2時30分～ 対 談

午後3時40分 特別拝観

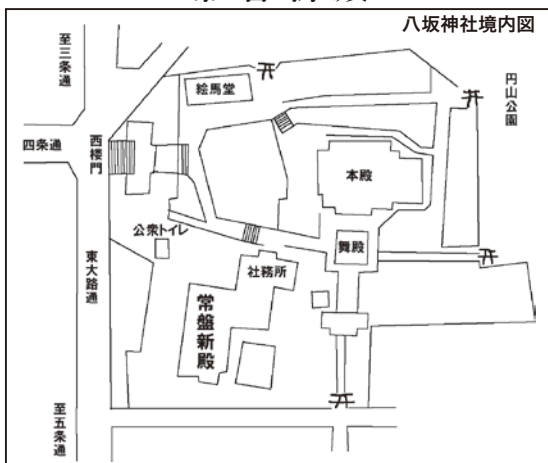
## ■ 対 談

## 「八坂神社と神仏の歴史」

八坂神社 宮司 野村 明義

ノンフィクション作家 秋尾 沙戸子

会 場 常磐新殿



### 八坂神社へのアクセス

- ☐ JR京都駅より 市バス100番・206番 「祇園」下車、すぐ
- ☐ 京阪電車「祇園四条」駅より 徒歩5分
- ☐ 阪急電車「京都河原町」駅より 徒歩8分

### 八坂神社について

八坂神社の創祀は、社伝によれば齊明天皇二年（六五六）に高麗より来朝した伊弉諾（イリノ）が新羅国の牛頭山に座した素戔鳴尊（スサノリミ）の御霊を山城国愛宕郡八坂郷の地に祀ったことが始まりとされています。

長らく「感神院」・「祇園社」とよばれてきましたが、慶応四年（一八六八）五月に「八坂神社」と改称しました。

御祭神は、素戔鳴尊・櫛稲田姫命・八柱御子神です。

中御座に奉祀の素戔鳴尊が八岐の大蛇を退治したことは『古事記』・『日本書紀』神話により広く知られていますが、その時に救いだされたのが東御座に奉祀の櫛稲田姫命であり、のちお二方ご結婚の時、素戔鳴尊が詠まれた歌が

八雲たつ出雲八重垣妻ごみに  
八重垣つくるその八重垣を

で、我国初めての三十一文字の和歌であると紀貫之が『古今和歌集』の仮名序に記しています。以来、和歌神としての信仰がうまれました。

西御座には素戔鳴尊の御子である八柱御子神をお祀りしています。

### お申込み方法

拝 観 料：特別拝観される方は1,000円

定 員：100名程度（応募多数の場合は抽選となります。）

申込締切：令和8年1月23日（金）必着

下記の用紙へご記入の上、FAX  
またはこちらからお申込みください。→



FAX 申 込 用 紙

京都歴史遺産のなかの都人たち

令和8年1月23日（金）必着

FAX 075 (223) 6976

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| フリガナ    |                                 |
| 代表者名    | 参加人数 名                          |
| ご住所 〒   | 参加者氏名（代表者以外） ※参加票は代表者の方にお送りします。 |
| TEL/ 携帯 | フリガナ<br>氏名                      |
|         | フリガナ<br>氏名                      |

※応募時にご記入頂いた個人情報、本企画に関する連絡の目的のみ使用いたします。

お問い合わせ、お申し込み 京都仏教会 電話 075 (223) 6975 FAX 075 (223) 6976